

派 遣 報 告 書（報告者： 森本 滉生 ）

大会名	南九州四県対抗バスケットボール選手権大会
開催地	鹿児島県始良市
日 時	令和7年4月26日（土）～27日（日）
担当ゲーム1	女子 鳳凰高等学校（鹿児島2） vs 延岡学園高等学校（宮崎2）
相手審判	川井剛（鹿児島）・森本滉生・岡山智樹（鹿児島）
担当ゲーム2	女子 熊本県立熊本商業高等学校（熊本2） vs 鳳凰高等学校（鹿児島2）
相手審判	樋口俊司（大分）・森本滉生・笹沼晃太（宮崎）
担当ゲーム3	男子 鹿児島県立鹿児島工業高等学校（鹿児島1） vs 宮崎県立宮崎工業高等学校（宮崎1）
相手審判	樋口俊司（大分）・豊倉和樹（鹿児島）・森本滉生
Pre-Game Conference	
（担当ゲーム1） ☐ ベーシックなメカニクスの確認 ☐ クルー間でコミュニケーションをとることをゲーム中に意識すること ☐ 処置ミスゼロ ☐ チーム情報の共有 （担当ゲーム2） ☐ チーム情報の共有 ☐ メカニクスの確認 （担当ゲーム3） ☐ チーム情報の共有 ☐ メカニクスの確認	
Post-Game Conference	
（担当ゲーム1） ☐ ゲームを通してプライマリ内の判定をしっかりとできていたことが多かった。 ☐ ヘルプディフェンダーなど判定とメカニクスの面において、クルー間で認識を合わせながらゲームを進めることができた。 ☐ 判定に繋げるためのポジションアジャストやマインドセットの面でプレーの予測や現象の整理ができていないことがあった。 （担当ゲーム2） ☐ 一貫して笛を入れ続けることができたことがよかった。 ☐ クルー間のコミュニケーションをとりながらゲームを進められたことがよかった。 ☐ プライマリ外での現象に対して笛を入れることによるクルーワークの乱れが見られた。 （担当ゲーム3） ☐ クルー間でタイムアウト時などにコミュニケーションをとりながらゲーム進行ができた。チームの特性に合わせてメカニクスの面において対応ができ、判定で良い成果が見られることがあった。 ☐ アウトオブバウンズなどで確証がない時にヘルプを求めることができなかった。	
今大会に参加しての感想など	
☐ 信頼されるレフェリングをするためにもクルーワークを意識することが大切だと感じました。チームの特性に合わせたメカニクスの遂行など、基本の上で成り立つことであり、改めて基本に忠実なレフェリングの重要性ということを学びました。 ☐ 今回の派遣にあたり、開催県の鹿児島県の皆様には大変お世話になりました。また、大分県協会の皆様には、派遣させていただいたことを心からお礼申し上げます。	

